日本創造学会
Japan Creativity Society
JCS NEWS LETTER

第45回日本創造学会研究大会

１日目：2023/9/30(土)オンライン開催

２日目：2023/10/1(日)ハイブリッド開催

「創造性を育むリスキリングの探求」
ーヒト・AI・組織・社会の新たなつながりを目指してー

豊田貞光実行委員長
（産業能率大学）

藤原由美副実行委員長
（産業能率大学）

三浦元喜副実行委員長
（千葉工業大学）

第45回研究大会を３か月後に迎えるにあたって２つの変更を行った。

１つ目は初日9月30日を完全オンライン開催とした。感染症拡大や天候不順等のリスクを排除しきれないことが要因である。２つ目は副テーマの変更。企画段階では創造性を育むリスキリングの探求が望ましいと考えたが、この半年で世間は生成AIの話題で満載となった。そこで創造性とリスキリングの軸はぶらさず、関係変数をヒト、AI、組織、社会の中で紐解いていくというスタンスとした。パネラーもそれぞれの領域でエッジを走る方々をアサインした。

創造性はイノベーターの主要な能力であり、リスキリングは組織的な学習機会の提供である。26巻紺野論文の中で『目的を考える。そのためには会社人ではなく「社会人」であることの意識づけが求められるだろう。社会の一員としての自覚は利他的精神とともにアントレプレナー気質の自己発見（試行錯誤的な生活意識や態度につながる）ともなる。』を咀嚼すれば、大変革期に創造性を育むリスキリングを探求し、ヒト・AI・組織・社会の新たなつながりを目指して人づくり、組織創りのヒントを模索することは当学会に課せられた使命と思える。多くの方の投稿、発表、参加を期待したい。

大　会　要　項

【参加申込書】このNLメールに添付/学会HPよりダウンロード、記入の上、事務局アドレスに送付。

【会　場】オンライン＆産業能率大学（２日目の参加/発表を会場にする場合は会場参加を選択）

【発表申込み】申込書の発表申込欄に記入（発表要項をお送りします）

【日程と開催方法】2023年9月30日（土）オンライン開催、10月1日（日）ハイブリッド開催

【内　容】１日目オンライン：講演会/パネルディスカッション/総会報告、表彰　等
２日目ハイブリッド：研究発表/デジタルポスター発表

【発表申込締切】8月15日　【研究発表論文/レジュメ提出締切】 8月末日（厳守）

【発表のない参加申込締切】 9月28日

【参加費】学生（会員/非会員同額）2,500円、会員3,000円、非会員4000円　※事前振込
当日会場参加（共通）　5,000円　※現金のみ

【研究発表論文掲載料】4頁まで2000円、1頁追加ごと1000円　※書式はテンプレートに従うこと

【デジポスレジュメ掲載料】A4/1頁500円 追加頁不可　※書式A4縦

※注意事項

1．研究発表（会場/オンライン選択）は会員資格が必要です。デジポス発表はオンライン発表のみ。学生は非会員でも発表可。発表論文・レジュメの査読はありません。
2．研究発表はテンプレートに従った書式で投稿してください。デジポスのレジュメ（A4縦/１枚）は形式自由です。
3．論文・レジュメ提出後の事務局への訂正の依頼等は受け付けられません。
4．研究大会論文集はダウンロード形式でPDF版の配布となります。発表内容は仮説や実験途中の研究でも可

基調講演 〈オンライン講演〉 人工知能の未来 ChatGPTを超えて

川村 秀憲氏 北海道大学大学院教授

この講演では、人工知能（AI）の進化とその将来について、特にAIの最前線である言語理解能力と生成能力を持つChatGPTを踏まえて考察します。AIの技術的進化は急速に進行しており、これまでのChatGPTといった技術は、現在のテクノロジーと社会に革命的な影響を与えるだけでなく、その未来像を描く重要な役割を果たしています。

現在のChatGPTがどのように人間のような文章を生成し、理解する能力を持つようになったか、これらの技術がこれからどのように進化し、どのような影響をもたらす可能性があるかについて深く掘り下げます。

特に、我々の社会、産業、そして個々の生活に対するAIの進化の影響についてもお話します。最後に、AIの倫理的課題や公正性の問題、そして人間性の保持についても触れたいと思います。これらの議論は、AIの発展がもたらす未来を理解し、その形成に参加するための重要な一部です。

この講演を通じて、みなさんがAIの可能性をさらに理解し、その未来を共に形成する一歩を踏み出すきっかけになることを期待しています。

【講演者プロフィール】
２０００年 北海道大学大学院工学研究科博士課程期間短縮修了。博士（工学）
２００６年 北海道大学大学院情報科学研究科准教授、２０１６年同教授
２００７年～２００８年 日本学術振興会海外特別研究員、ミシガン大学客員研究員兼任
人工知能の研究に興味を持ち、ニューラルネットワーク、ディープラーニング、機械学習、進化システム、マルチエージェントシステム、データマイニング、ロボティクスなどの研究に従事。企業との産学連携実績多数。人工知能に関する論文多数。
・㈱調和技研、 AWL㈱、TIL㈱、 ㈱ Aill Co-founder。
・フュージョン㈱ 、㈱調和技研、 ㈱インターパーク、 ㈱ Aill 社外取締役。
・AWL㈱、㈱HBA、㈱クレスコ、 ㈱穴吹興産、 ㈱サンクレエ、 ㈱ニッコー、 ㈱ビッグ、 ㈱ GMOサイバーセキュリティ、㈱イノベーションプラス、㈱バリュエンステクノロジー、㈱ノザキ製菓、㈱ザ・サンストラテジックソリューションズ、㈱スクリエ、㈱ニッセイコム 技術顧問。
・ Sapporo AI Lab所長。

川村秀憲氏著作

大内 東, 山本雅人, 川村秀憲, 他: 生命複雑系からの計算パラダイム, 森北出版株式会社 (2003)

大内東, 山本雅人, 川村 秀憲: マルチエージェントシステムの基礎と応用 複雑系工学の計算パラダイム, コロナ社 (2002)

クリフォード・A・ピックオーバー (著), 川村 秀憲 (監訳): 人工知能 グラフィックヒストリー , ニュートンプレス (2020)

ブライアン・キャントウェル・スミス (著), 川村秀憲 (監修), 檜垣裕美 (翻訳): 人工知能の可能性 機械は人間と同じ思考力を持てるのか, ニュートンプレス(2021)

川村秀憲, 山下倫央, 横山想一郎: 人工知能が俳句を詠む: AI一茶くんの挑戦, オーム社 (2021)

川村 秀憲, 大塚 凱: AI研究者と俳人 人はなぜ俳句を詠むのか, dZERO (2022)

会場：産業能率大学自由が丘キャンパス（2日目発表会場）
住所： 〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15
アクセス
東急東横線・大井町線、自由が丘駅正面口より徒歩15分
自由が丘駅正面口より東急コーチ（バス）を利用。
3番目の停留所、「等々力七丁目」下車。（乗車時間約5分）

〈オンライン開催〉

パネルディスカッション 創造性とリスキリング

司会進行　藤原由美（産業能率大学）

パネリスト本村陽一氏
産業技術総合研究所首席研究員

「ヒト、AI、社会のつながりの観点から」

本村陽一氏プロフィール
1993年通産省（現経済産業省）工業技術院電子技術総合研究所入所、2001年より産業技術総合研究所主任研究員。サービス工学研究センター大規模データモデリング研究チーム長、同副研究センター長などを経て、2015年人工知能研究センター副研究センター長および人工知能技術コンソーシアム会長、2016年より首席研究員兼確率モデリング研究チーム長。東京工業大学大学院特定教授、神戸大学客員教授を兼務。人工知能学会理事。

パネリスト松前あかね氏
九州大学大学院准教授

「共創とソーシャルイノベーションの観点から」

松前あかね氏プロフィール
法務博士（専門職, 九州大学）、博士（知識科学, JAIST）。2002年東京工業大学大学院修士課程修了以降、ボトムアップなソーシャルイノベーション実務／教育、社会的創造性研究に従事。2014年グダニスク工科大学客員教授（ポーランド）、2017年ルーヴァンカトリック大学客員研究員（ベルギー）、2022-現在バンドン工科大学（インドネシア）客員教授。国際デザイン学会デザイン創造性SIG Chair、日本創造学会任命理事。

パネリスト石井力重氏
アイデアプラント代表

「生成系AIと創造性開発の観点から」

石井力重氏プロフィール
アイデア創出の技法や、創造性の研究をしています。創造力のカードゲームを作ったり、企業さん向けにワークショップ（アイデアを出し合う活動）や創造研修を提供したりしています。アイデアプラント 代表、早稲田大学・奈良女子大学・名城大学 非常勤講師（創造学、デザイン論）、日本創造学会 理事。著書『すごいブレスト』『アイデアスイッチ』、作品「ブレスター」「智慧カード」「nekonote」「人機共想カード」等

【大会スケジュール（予定）】

時間	1日目　9月30日（土） オンライン開催
13:30	開会挨拶　豊田貞光実行委員長
13:35～14:20	基調講演　『人工知能の未来　ChatGPTを超えて』 海道大学大学院　情報科学研究院情報理工学部門複合情報工学分野 教授　川村秀憲氏
14:30～16:20	パネルディスカッション　創造性とリスキリング スピーカー:　本村　陽一氏　産業技術総合研究所主席研究員 「ヒト、AI、社会のつながりの観点から」 スピーカー: 松前あかね氏　九州大学大学院准教授 「共創とソーシャルイノベーションの観点から」 スピーカー: 石井力重氏　アイデアプラント代表 「生成系AIと創造性開発の観点から」 司会進行:藤原由美　産業能率大学
16:30	1日目終わりの言葉
16:35～	総会報告・学会賞受賞者の発表（論文賞・著作賞・発表賞）

時間	2日目　10月1日（日） ハイブリッド開催
9:00～	オンライン参加者アクセス開始/会場受付開始
9:30～12:30	発表（会場/オンライン）・デジポス発表（オンライン） 研究発表（発表時間20分、質疑7分、発表者入替3分） デジタルポスター発表（発表時間7分、質疑5分、発表者入替3分） ※発表申込数により研究発表時間が短縮される場合があります。
12:30～13:30	昼休憩
13:30～16:30	発表（会場/オンライン）・デジポス発表（オンライン） 研究発表（発表時間20分、質疑7分、発表者入替3分） デジタルポスター発表（発表時間7分、質疑5分、発表者入替3分） ※発表申込数により研究発表時間が短縮される場合があります。
17:00	終了

▲▼▲第79回クリエイティブサロン（2023年5月14日）開催報告▲▼▲

第79回クリエイティブサロンは論文賞、発表賞、デジポス賞を受賞された会員の皆様の講演会でした。各講演の動画は各URLより視聴できます。

『小学生における日常の教科学習を活かした創造性教育の教材開発と実践』

論文賞講演1　講師：尾澤知典氏　横浜市小学校教員　慶應義塾大学大学院SDM研究所研究員

尾澤知典氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/lh3Zby-TKPM

『画像の自由選択によるユーザ感性要求の構造化に関する研究－建築デザインの事例研究－　』

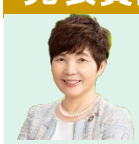
論文賞講演2　講師：由田徹氏　株式会社ユウプラス代表取締役　建築家、デザイナー

由田徹氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/I-GVWp9ESGY

『地方創生に向けたイノベーションプロセスの提案と適用～オランダ農業ビジネス国にみる農業と情報工学の融合からの質的研究～』

発表賞講演1　講師：森田純恵氏　秋田県立大学　システム科学技術学部　情報工学科・教授



森田純恵氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/xmW7rW1gIKM

『命の尊さを学ぶ防災教育プログラム開発に関する研究－災害発生時の発想（ひらめき）と解決策（避難行動）を促す効果的な研修プログラムとは？』

発表賞講演2　講師：西浦和樹氏　宮城学院女子大学教授

西浦和樹氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/ocCS3Ln6mn4

『HMDを用いたVR空間での創造会議の評価』

発表学生賞講演1　講師：井原颯太氏　久留米大学 文学部 情報社会学科 川路ゼミ4年

井原颯太氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/c5dT8GBMQTo

『隠れマルコフモデルを用いた創造的心理状態の推定および「響きあい」の検出』

発表学生賞講演2　講師：東海林慶祐氏　九州大学大学院芸術工学府松前研究室

東海林慶祐氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/VkmHdjHs1S8

『共創ワーク中の音声コミュニケーションと「響きあい」発現との関係』

発表学生賞講演2　講師：七條花恋氏　九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻

七條花恋氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/q60tQ9YGIo8

『子育て世帯の地方関係人口を増やす「保育園留学®」システムの提案』

デジポス賞講演1 講師：宮外真理子氏 有限会社フォント 慶應義塾大学SDM研究所

宮外真理子氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/tnMQyoU281g

『「2019～2022年のインプロ（即興劇）研究の経過報告（リアル～Web会議システム～メタバース）』

デジポス賞講演2 講師：馬場康之氏 株式会社毎日放送

馬場康之氏の講演は下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/dQOMccFSVQU

▲▼▲第80回クリエイティブサロン（2023年7月8日）開催報告▲▼▲

第80回クリエイティブサロンは産総研人工知能技術コンソーシアムとの共催で、会場とオンラインのハイブリッドで開催されました。各URLより視聴できます。

講演1『新たなリアリティを共に生きることとしてのフィールドワーク』

講師：有元典文氏
横浜国立大学教育学部教授

有元典文氏の講演は下記のURLから視聴できます。

https://youtu.be/du6KI12w_0k

講演2『発見と発想を生成するFeel度Walkと知図』

講師：市川力氏
一般社団法人みつかる＋わかる代表理事・慶応義塾大学SFC研究所上席所員・広域通信制明蓬館高等学校副理事長

市川力氏の講演は下記のURLから視聴できます。

https://youtu.be/Q22mU41pY0I

【鼎談】AI時代のフィールドワーク

本村陽一氏・有元典文氏・市川力氏 ファシリテーター：安松健

本村陽一氏：産業技術総合研究所主席研究員、人工知能研究センター副研究センター長 および人工知能技術コンソーシアム会長、東京工業大学大学院特定教授、神戸大学客員教授を兼務。人工知能学会理事。

鼎談は下記のURLから視聴できます。

https://youtu.be/oCXyGqjI7SY

第81回クリエイティブサロン（11月）は沖縄県今帰仁村でのフィールドワークを開催します

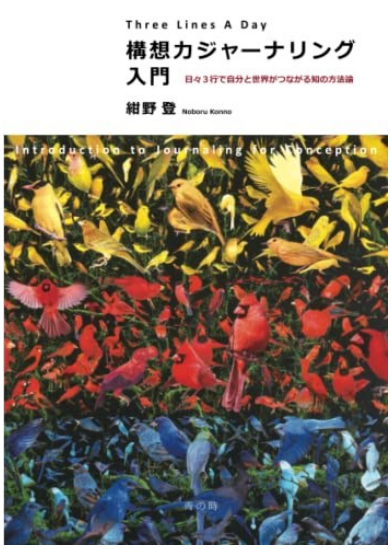
クリエイティブサロン担当理事：安松健

主　催：日本創造学会
概　要：フィールドワークとKJ法をベースにしたワークショップを実施する合宿
日　程：2023年11月18日（土）・19日（日）1泊2日
開催地：沖縄県今帰仁村
　　※今帰仁村は、沖縄北部の自然の魅力を色濃く残し、琉球三山時代の北山文化圏の拠点として歴史文化高い村
参加費：無料、宿泊費・交通費・食費等は実費
集合地：那覇集合、レンタカー乗合なども調整中
宿　泊：推奨ホテルを案内
　　（ブエナビスタ今帰仁8000円程度、民宿4000円程度を想定、いずれかを選択、左記以外のホテル希望の方は各自個別手配でもOK）
○フィールドワークテーマ：近代建築としても著名な中央公民館を中心としたエリア活性化
○現場の観察や現地のキーパーソンへのインタビューなどのフィールドワークで情報収集し、ワークショップにてインサイトを洞察する**※スケジュールの詳細は後日案内**
○夜は地元のみなさまと懇親会（懇親会も重要なフィールドワーク）
○オプションとして、前後の日程でオプショナルツアーなども検討（例年、前後に独自に旅行やワーケーションするメンバーも多数）

※この企画へのお問い合わせ、参加希望はメールで学会事務局まで。

「KJ法」は（株）川喜田研究所の登録商標です（登録商標日本第4867036号）
参照：KJ METHOD A Scientific Approach to Problem Solving issued by Kawakita Research Institute, 1975 by Kawakita Jiro

書籍紹介



構想力ジャーナリング入門:
日々３行で自分と世界がつながる知の方法論　¥2200
著者：紺野 登

ジャーナリングは、イタリアの小説家で記号学者のウンベルト・エーコの『開かれた作品』で示唆されている、（アート）作品を「享受者の積極的介入によって意味内容が可逆的に発見される『開かれた』形態として見るという作業に似ています。

ジャーナリングそのものが、自分自身の時折々の語りを書き残していく作業あると同時に、その自分自身の時折々の語りは新たな語りを再構成する素材となっていきます。語った内容の云々ではない。うまい文章を書こうとか、そんなことはどうでもいい。ジャーナリングを通して潜在的な自分を理解できると、嬉しいのです。また、ジャーナリング（すること）は「場」の創造でもあります。場の理論の研究者として、書籍化にさいしては「場としてのジャーナリング」についてのエッセイを新たに書きおろし収録しています。

“ナラティブ・リテリング（narrative retelling)“（語り直し、再話）がいま、セラピーの方法として関心をもたれています。自分自身の生活や人生をいったん問題としてとらえて語り直すことです。妄想や虚偽のストーリーでなく、語ることを通じて自分の現実に向き合って理解・行動する、というプロセスです。

ジャーナリングが求められる背景にはこうした潜在的な僕ら自身の「場」が横たわっています。これは個人だけでなく、社会や経済、経営にも通ずるものです。

新 入 会 員 紹 介

入会者（入会順）

氏名	会員種	所属	住所	専門分野
伊藤　潤	正会員	東京都立産業技術大学院大学	東京都	デザイン史・工業デザイン 創造性教育
尾崎 幸平	正会員	株式会社ZENKIGEN	東京都	社会心理学・創造性
田中雄一朗	学生会員	慶應義塾大学大学院SDM研究科	神奈川県	HR(人的資本)・IT
村井拓人	学生会員	同志社大学大学院	兵庫県	社会心理学・社会学 認知心理学
藤井賢二	正会員	株式会社たきコーポレーション	東京都	UXデザイン・デザイン思考 ・システム思考
曽根　進	学生会員	法政大学大学院	神奈川県	地域創生・ふるさと納税 ・脱炭素・SDGs

2023年度会員総会について

“書面による総会”を実施します

理事長　豊田貞光

2023年度日本創造学会総会は昨年度と同様に参集による総会を行わず、会員の皆様へ書面（メール）による書類送付を実施、その返信の結果をもって決議といたします。

なお、全会員は会則により総会への出席の義務がございますので、必ず返信をお願い致します。返信をもって総会への参加とみなされます。

書面による総会の評決結果は研究大会1日目、９月３０日１６時３５分から開催される総会報告の時間に理事長より報告致します。学会賞の表彰（受賞者の発表）は、総会報告時に行います。

事務局メッセージ

世界のあちこちで史上最高気温を更新したというニュース。酷暑はまだまだ続くと思われます。お忙しい日々をお過ごしかと思いますが、体調を壊されませんよう、お気を付けください。

研究大会の開催方法が変わりました。1日目イベントは完全オンライン、2日目研究発表はハイブリッドとなります。参加申込は随時受け付けております。多くの皆様のお申し込みをお待ちしております。

（事務局：比嘉）

日本創造学会 ニューズレター
2023年7月発行（№3）
日本創造学会事務局
発行人　：豊田貞光
編集担当：比嘉由佳里
〒272-0031 千葉県市川市平田
1－10－2
Tel　080－3465－6152
Fax　047－705－1178
e-mail：jcs-info@japancreativity.jp
http://www.japancreativity.jp/